

公立高校入試情報 長野県

【社会】

令和6年度長野県入試の全体傾向

- 大問構成，問題数について
- 大問は地１・歴１・公１の計３問。
- 小問は35問(昨年38問)。
- 文章記述問題は９問(昨年は11問)。
- 出題傾向について
- 完答が多く，問題数以上に解く時間が必要。
- 記述問題は記述量の多い問題が多く，資料の読み取りも多い。観光に着目した長野県と沖縄県の今後の交流連携についての提案を50字以上70字以内で書く問題など，読解力と文章作成力が求められる。

■ 文章記述問題の出題

- ・理由や資料を読み取ったうえでの考えを字数制限内にまとめる記述問題が例年出題される。記述量が多いため，練習が必要。

■ 資料読み取り問題の出題

- ・各分野ともグラフや統計などを活用した問題が出題されているため，資料の特徴を読み取る練習をしておく必要がある。

★長野県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		
		日本の姿	●		●
		世界各地の人々の生活と環境	●		
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州，アフリカ州			
		北アメリカ州，南アメリカ州，オセアニア州	●		●
		地域調査の手法		●	
		日本の自然，人口		●	●
		日本の資源・産業，世界との結びつき	●	●	●
		九州地方，中国・四国地方	●		●
	歴史的分野	近畿地方，中部地方			●
		関東地方，東北地方，北海道地方		●	
		文明のおこりと日本		●	
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	
	公民的分野	近代日本の歩み	●		●
		二度の世界大戦と日本		●	
		現代の日本と世界	●	●	●
		現代社会と私たちの生活	●		●
		個人の尊重と日本国憲法		●	
		現代の民主政治，国会	●	●	●
		内閣・裁判所，三権分立			
		地方自治			
出題形式別の傾向	分野統合	消費生活と流通・生産，市場経済と金融	●		●
		財政，国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち		●	
		分野統合		●	
		大問数	3	3	3
		小問数	36	37	38
		記号解答	16	17	18
		用語記述	10	7	9
		文章記述	10	13	11
		作業・作図			